



ITS- SAFETY 2010

公開デモンストレーション ガイドブック

会 期 2009年2月25日(水)~28日(土)/10:00~17:00 25日:12:00~17:00 *一部プログラムを除く

主 催 ITS推進協議会

内閣官房 / 警察庁 / 総務省 / 経済産業省 / 国土交通省道路局 / 国土交通省自動車交通局 / (社)日本経済団体連合会 / 特定非営利活動法人 ITS Japan

共 催 東京都

協 賛 (社)日本自動車工業会 / (社)日本自動車部品工業会 / (社)日本自動車連盟 / (財)道路交通情報通信システムセンター

日本自動車輸入組合 / (社)電子情報技術産業協会 ITS事業化専門委員会 / (財)日本交通管理技術協会 / (財)全日本交通安全協会
自動車安全運転センター

URL : <http://www.its-safety2010.jp>

ごあいさつ

内閣府特命担当大臣 野田聖子

近年、交通事故による死者数は、昭和45年のピーク時に比べ1/3以下に減っているものの、毎年5000人以上の方が命を落とされています。政府としては今後10年間で、更なる半減を目指していますが、その実現には、安全運転を強力にサポートする新しい社会基盤が必要です。その一つとして期待されているのが、情報通信の活用による「世界一安全な道路交通社会」の実現を目指したITSによる安全運転支援システムであり、2010年度の実用化に向け、現在、関係者が一丸となって取り組んでいるところです。この機会に、道路交通に関わる多くの人たちの「事故を無くしたい」という熱い想いと共に、最先端のシステムを体感していただければと思います。

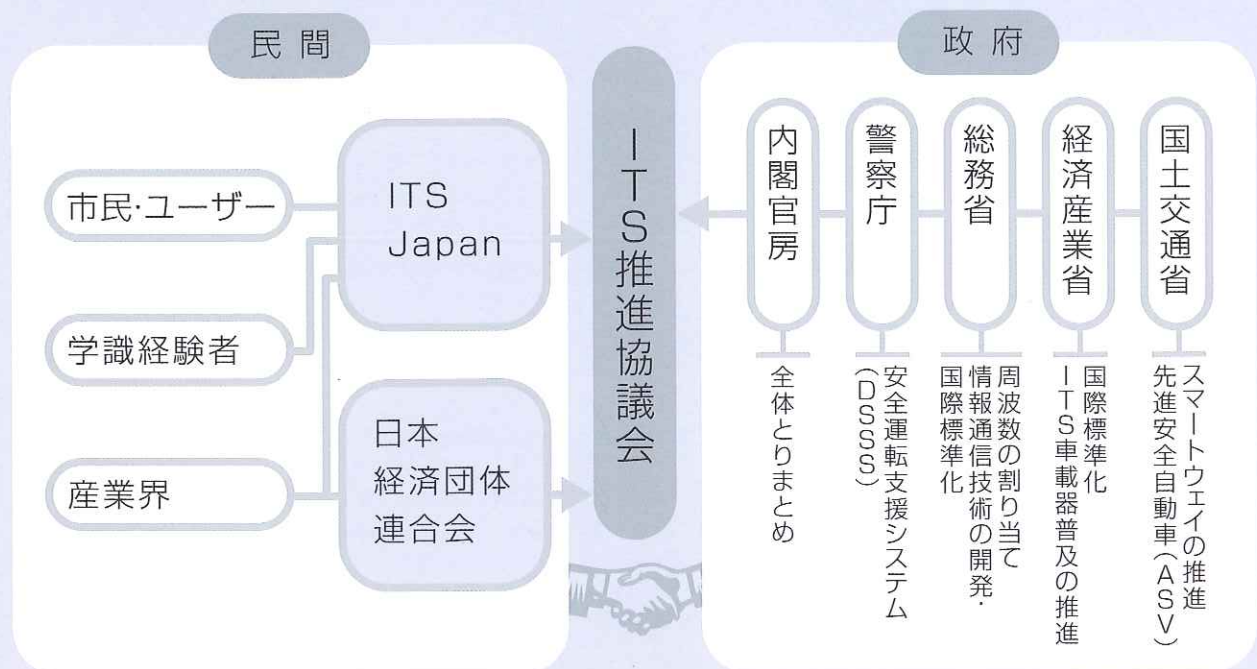


特定非営利活動法人 ITS Japan 会長 豊田章一郎

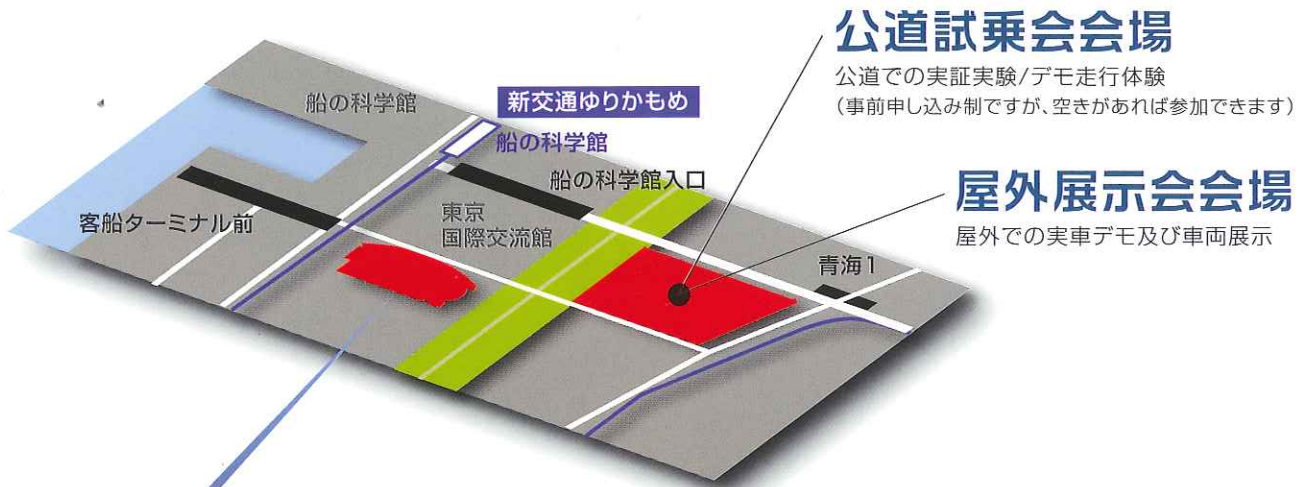
『ITS-SAFETY2010』公開デモンストレーションにご参加頂き、誠にありがとうございます。このデモはインフラ協調型安全運転支援システムによる「世界一安全な道路交通社会」を皆様にご体験頂く為に、官民が協力して開催しているものです。『ITS-SAFETY2010』は2006年1月に策定されました「IT新改革戦略」の実現を目標に、関係省庁、学会そして民間企業が一体となって、2010年度の実用化に向け、取り組みを進めている国家プロジェクトです。現在参加している民間の45社に加え、更に多くの企業が参加することによって、交通事故の削減のみならず、社会基盤の整備と合わせて、日本経済の再生、国際競争力の強化に貢献していきたいと思っております。



「ITS-SAFETY2010」とは、世界一安全な道路交通社会の実現に向けて、ITSによる安全運転支援システムを政府と民間が協力して実用化し、2010年度から事故多発地点を中心に全国展開の開始と普及促進を図る取り組みです。



会場全体案内図



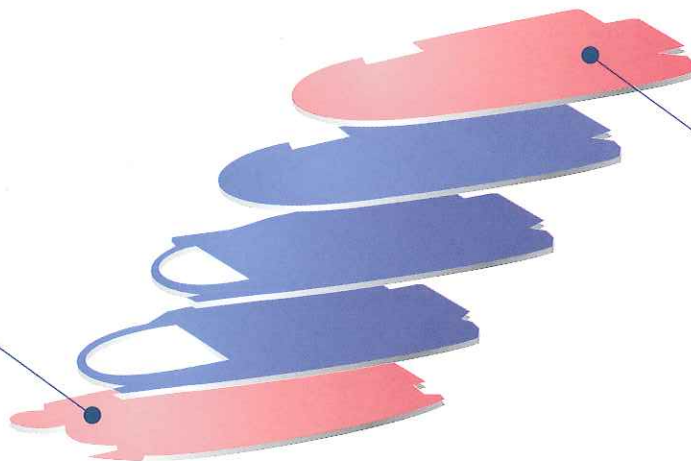
日本科学未来館



1F: 屋内展示会会場

各開発システムの技術展示

合同実証実験の全体概要紹介パネル等と各実験主体毎の技術紹介や開発システムやデバイス等の紹介。



7F: シンポジウム会場

日本ITS推進フォーラム

各関連省庁、団体による安全運転支援システムを中心としたITSの取組みの紹介。

公道試乗会 —公道での実証実験デモ走行体験—

試乗内容について

一般参加者等による実験車両への同乗体験ができます。

○50分コース(臨海副都心周辺のコース)

○140分コース(首都高速道路を含むコース)

(一般道及び首都高速道路の路車協調システムと車車間通信システムの一部を体感できる試乗コースを設定しております)

[体験内容]

○一般道の追突防止支援システムと高速道路の前方障害物情報提供システムの2つが連携したシステム

○一般道の右折時衝突防止支援システム

○一般道の二輪車に対する左折時衝突防止支援システム など

スケジュール

2009年2月26日(木)~28日(土)

各日共通

50分コース:10:00~14:00の間で10分間隔でスタート(終了は15:00頃を予定)

140分コース:14:00~16:30の間で10分間隔でスタート(終了は18:00頃を予定)

※事前申し込み制となっておりますが、当日空きがあれば参加できます。

詳しくは、屋内展示場(日本科学未来館 1F企画展示ゾーンa・b)内公道試乗受付までお越し下さい。

試乗コース

公道試乗会 コース案内図



屋内展示会 一各開発システムの技術展示一

展示内容について紹介

交通事故の未然防止を目的としたITSによる安全運転支援システムについてこれまで官民連携で開発・実用化の推進を行ってきました。このシステムは、車両から見えない範囲の交通状況について、情報通信技術を用いて必要に応じて運転者に情報提供、注意喚起、警報等を行うシステムであり、出会い頭の衝突や見通しの悪い道路での渋滞による追突事故等への対策として期待されています。屋内展示会場では、公道試乗会でも使用されている各システムについての詳細を紹介します。

スケジュール

2009年2月25日(水)~28日(土)

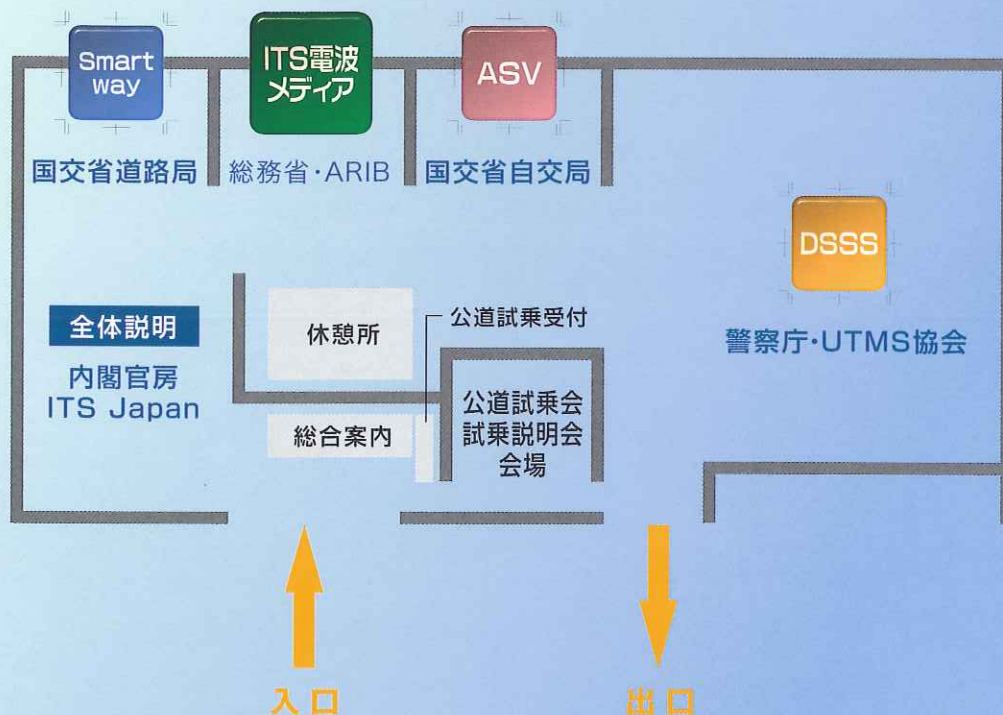
25日(水)12:00~17:00

26日(木)~28日(土)10:00~17:00

展示場所

日本科学未来館1F 企画展示ゾーンa・b

屋内展示会 会場案内図



屋外展示会 一屋外での実車デモ及び車両展示一

展示内容について

「インフラ協調による安全運転支援システム」以外の安全システムの実用化や研究開発の取り組みを“実車デモ”“車両展示・技術展示”にて体験できます。



車両展示 技術展示

二輪・四輪・大型車などの自動車メーカー、国土交通省、東京都、などがそれぞれの安全への取り組みを紹介します。

[国土交通省自動車交通局]

これまでに実用化されたASV技術について、映像、パネル等を用いて紹介します。

[東京都]

駐車場を発着地として、葛西臨海公園駐車場までの往復区間で公道デモンストレーションを実施します(全行程:20Km、所要時間:約30分)。

- ・スマートパーキング：空き駐車場と経路をナビで情報提供します。
- ・ダイナミック・パークアンドライド：公共交通への乗り換え情報をナビで情報提供します。

[スケジュール]

2009年2月25日(水)～28日(土)

25日(水) 12:00～16:00

26日(木)～28日(土) 10:00～16:00



定置系 デモ

自動車メーカー4社(日産・トヨタ・スズキ・ホンダ)による安全システムのデモンストレーションを行います。こちらは参加型デモンストレーションとなり、各社の展示エリアにて当日申込制となります。

[スケジュール]

2009年2月25日(水)～28日(土)

25日(水) 12:00～16:00

26日(木)～28日(土) 10:00～16:00



走行系 デモ

市販されている安全システムのデモンストレーションが行われます。参加型のデモンストレーションとなり乗車受付にて当日申込制となります。

[ACC(アダプティブ・クルーズ・コントロール)]

レーダー等で前方を監視し、ドライバーがセットした車速を維持するとともに、自車両よりも遅い先行車がいる場合には、先行車との車間距離を適正に維持して追従走行します。

[PCS(プリクラッシュセーフティー:被害軽減ブレーキ)]

レーダー等で前方障害物を検知し、障害物に衝突するおそれがある場合に運転者へ回避操作を行うよう警報し、さらに障害物との衝突が避けきれないと判断した場合には、障害物との衝突による被害を軽減するため自動的にブレーキ制御を行います。

[スケジュール]

2009年2月26日(木)～28日(土)

26日(木) 10:00～12:30 ACC、13:30～16:00 PCS

27日(金) 10:00～12:30 PCS、13:30～16:00 ACC

28日(土) 10:00～12:30 PCS、13:30～16:00 PCS

※デモは1回6分程度を予定しています。

展示場所

(日本科学未来館 周辺 東京都屋外駐車場)



シンポジウム ー日本ITS推進フォーラムー

各種シンポジウムの内容紹介

大規模実証実験紹介や関連省庁、参加企業・団体等の取組みを講演致します。

[場所] 日本科学未来館7F みらいCANホール

※満席の場合はサテライト会場へのご案内となります。

※2/25(水)13:00~16:10 UTMSシンポジウム「世界ー安全な道路交通社会の実現に向けて」はサテライト会場のみのご利用となります。

[聴講料] 無料

2月25日(水)

A-1 UTMSシンポジウム「世界ー安全な道路交通社会の実現に向けて」13:00~16:10 同時通訳

【警察庁・社団法人 新交通管理システム協会】

UTMS(新交通管理システム)は、警察庁が推進するITSで、光ビーコンを通じた双方向通信を活用した世界最先端の交通管理システムです。シンポジウムでは、「UTMSの現状と展望」、「DSSS(安全運転支援システム)の開発」等の講演のほか、産官学関係者や海外専門家によるパネルディスカッションを行います。

A-2 スマートウェイ・セッション「次世代道路サービスの展開」16:30~18:00 同時通訳

【国土交通省道路局】

次世代道路サービスの展開について、慶應義塾大学川嶋教授をお招きし、基調講演を行います。また、首都高速道路(株)及び阪神高速道路(株)の各会長をお招きし、川嶋教授を含めた三者による討論会を行います。

2月26日(木)

B-1 エネルギーITSセッション「革新的ITSによる低炭素社会の実現に向けて」10:00~12:00 同時通訳

【経済産業省】

交通流の円滑化を図ることによって省エネ・CO2削減をめざす「エネルギーITS」に関する技術開発の必要性について御理解を深めていただくため、日米欧の専門家によるITSを利用したエネルギー効率の改善に向けた最新の技術や取り組みを紹介します。

B-2 第四期先進安全自動車(ASV)推進計画 中間報告会 13:00~15:00 同時通訳

【国土交通省自動車交通局】

平成18年度より開始している第四期先進安全自動車(ASV)推進計画において、これまでに実用化されたASV技術の本格的な普及を促進するとともに、通信利用型安全運転支援システムの実用化に向けた技術開発の促進に取り組んでいるところであり、現時点での取り組み状況をとりまとめ、報告を行います。

B-3 ITS情報通信セッション「ユビキタス情報通信が支える安全運転支援」15:15~18:15 同時通訳

【総務省・ITS情報通信システム推進会議】

08年度大規模実証実験の安全運転支援システムにも用いられている、車々間通信、路車間通信、ミリ波レーダなどのITS情報通信システムの技術開発動向及び標準化動向について解説を行います。また歩行者検知に代表される様々なアプリケーションに対応するミリ波帯レーダの開発動向について、欧州の専門家より講演を行います。

2月27日(金)

C-1 国際セッション「ITS世界会議を通して見る欧米の取り組みと日本の対応」10:00~12:00 同時通訳

【特定非営利活動法人 ITS Japan】

世界会議は2008年11月のニューヨークで15回目を迎えました。一方日本では愛知・名古屋以降セカンドステージと言われて4年が経過しました。このような状況の中、欧米ではITSについてどんな取り組みがなされているのか、それに対して日本はどのような位置付けで、今後どのような対応が必要なのかを、ニューヨークでの世界会議を通して俯瞰します。

C-2 地域活性化セッション「住みやすさは街を活性化させる」13:00~15:00 同時通訳

【特定非営利活動法人 ITS Japan】

渋滞なく移動できる街、公共交通がきめ細かく整備された街、そして環境にやさしい街等を目指し、日本においては各地で種々の取り組みが始まっています。その具体的な取り組みの方向性とあるべき姿を、官庁・民間・自治体・学界の各々の立場から考察していきます。

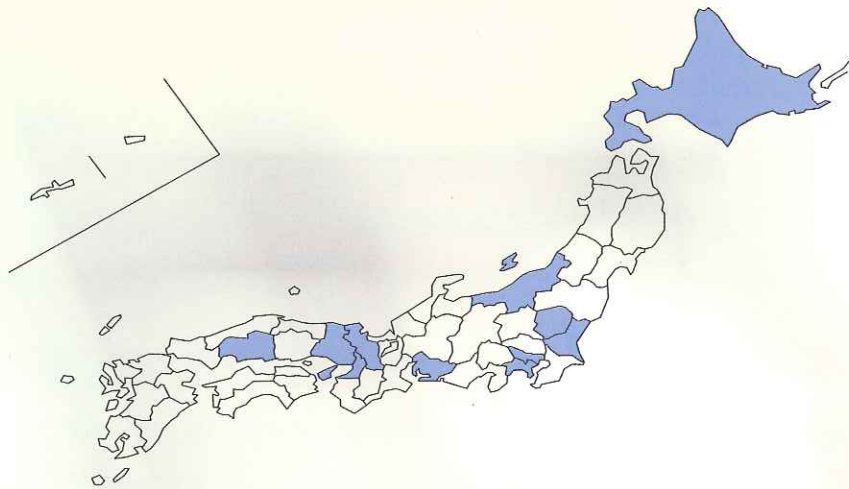
C-3 未来のモビリティ社会セッション ー2030年のモビリティ社会を語るー 15:15~17:35 同時通訳

【特定非営利活動法人 ITS Japan】

ITS Japanが策定中の「ITS長期ビジョン2030」を紹介するとともに、この長期ビジョンをベースに市民・住民が望む2030年頃の交通社会について、幅広い関係者(有識者、障害者団体、自動車会社、地域関係者)の各々の立場から講演をし、更にパネルディスカッションを行います。



ITS-SAFETY 2010



参加企業一覧

<合同実証実験>

(株)IHI、アルパイン(株)、いすゞ自動車(株)、沖電気工業(株)、オムロン(株)、カルソニックカンセイ(株)、川崎重工業(株)、(株)京三製作所、クラリオン(株)、小糸工業(株)、(株)ザナヴィ・インフォマティクス、JVC・ケンウッド・ホールディングス(株)、スズキ(株)、住友電気工業(株)、タイハツ工業(株)、(株)デンソー、(株)東芝、トヨタ自動車(株)、日産自動車(株)、日産ディーゼル工業(株)、日本信号(株)、日本電気(株)、日本無線(株)、バイオニア(株)、パナソニック(株)、ピー・エム・ダブリュー(株)、(株)日立国際電気、(株)日立製作所、日野自動車(株)、富士重工業(株)、富士通(株)、富士通デン(株)、フォルクスワーゲン グループ ジャパン(株)、本田技研工業(株)、マツダ(株)、三菱自動車工業(株)、三菱重工業(株)、三菱電機(株)、三菱ふそうトラック・バス(株)、メルセデス・ベンツ日本(株)、矢崎総業(株)、ヤマハ発動機(株)

<北海道実証実験>

(株)デンソー

<茨城県実証実験>

沖電気工業(株)、住友電気工業(株)、(株)デンソー、(株)トヨタIT開発センター、トヨタ自動車(株)、(株)豊田中央研究所、日本電気(株)、(株)日立製作所、富士通(株)

<栃木県実証実験>

アルパイン(株)、沖電気工業(株)、オムロン(株)、小糸工業(株)、住友電気工業(株)、日産ディーゼル工業(株)、日本信号(株)、日本無線(株)、バイオニア(株)、パナソニック(株)、富士重工業(株)、富士通(株)、本田技研工業(株)、三菱電機(株)、三菱ふそうトラック・バス(株)

<神奈川県実証実験>

(株)IHI、沖電気工業(株)、オムロン(株)、(株)京三製作所、小糸工業(株)、(株)ザナヴィ・インフォマティクス、住友電気工業(株)、(株)デンソー、(株)トヨタIT開発センター、トヨタ自動車(株)、(株)豊田中央研究所、日産自動車(株)、日本電気(株)、パナソニック(株)、(株)日立製作所、富士通(株)、三菱電機(株)、三菱プレジジョン(株)

<愛知県実証実験>

(株)IHI、沖電気工業(株)、オムロン(株)、住友電気工業(株)、タイハツ工業(株)、(株)デンソー、(株)トヨタIT開発センター、トヨタ自動車(株)、(株)豊田中央研究所、日本電気(株)、日野自動車(株)、富士通(株)、本田技研工業(株)、三菱自動車工業(株)、三菱電機(株)、ヤマハ発動機(株)

<京阪神地域実証実験>

タイハツ工業(株)、(株)デンソー、トヨタ自動車(株)、日本電気(株)、富士通(株)、富士通デン(株)、三菱電機(株)

<広島県実証実験>

沖電気工業(株)、オムロン(株)、川崎重工業(株)、(株)京三製作所、住友電気工業(株)、(株)デンソー、(株)東芝、トヨタ自動車(株)、日本電気(株)、パナソニック(株)、マツダ(株)、三菱自動車工業(株)

問い合わせ先 ITS-SAFETY2010 運営事務局

〒104-0061 東京都中央区銀座6-13-16 株式会社ジェムコ・コーオペレーションズ内
phone.03-3545-1531 fax.03-5565-6909 E-mail:its2010@jemco.co.jp